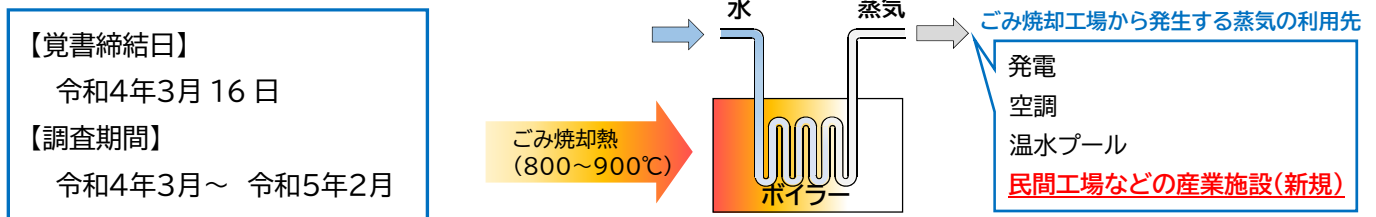


横浜市と東亜合成株式会社が脱炭素化に向け、ごみ焼却に伴い発生した蒸気の地域利用について調査・検討を行います

横浜市と東亜合成株式会社は覚書を締結し、ごみ焼却工場が発生する蒸気を同社横浜工場へ供給する新たな熱利用の実現可能性と温室効果ガス削減効果の調査・検討を行います

ごみ焼却工場では、ごみ焼却により発生した熱をボイラー設備で蒸気に変換し、有効利用しています。この蒸気は石炭・石油・都市ガスなどの化石燃料を使わずにつくられることから、二酸化炭素を排出しない熱エネルギーです。

横浜市では、この蒸気をタービン発電機による発電や温水プールの加温などに利用していますが、今回新たに鶴見工場近隣の東亜合成株式会社横浜工場へ供給する熱の利用について、実現可能性調査を行います。



熱利用実現可能性調査について

東亜合成株式会社横浜工場では、化学製品の製造過程で使用する蒸気を発生させるため、都市ガス等を燃料に用いています。

今回、化学製品の製造過程で使用する蒸気を、ごみ焼却で発生する二酸化炭素を排出しない蒸気に置き換え、同社横浜工場が蒸気をつくるために使用していた化石燃料を減らすことで温室効果ガスの削減が可能となります。

そこで、熱利用の実現可能性調査として、鶴見工場の蒸気の置き換えに伴うコスト比較、温室効果ガス排出削減効果など、総合的な観点で調査・検討を行います。



鶴見工場から東亜合成株式会社横浜工場への熱供給イメージ

東亜合成株式会社について

- ◆東亜合成株式会社の主な事業内容
 - 基幹化学品事業(カセイソーダ、硫酸、アクリル酸など)
 - ポリマー・オリゴマー事業(高分子凝集剤、光硬化型樹脂など)
 - 接着材料事業(瞬間接着剤「アロンアルファ」など)
 - 高機能無機材料事業(半導体向け高純度製品、無機抗菌剤など)
- ◆横浜工場の事業内容
 - カセイソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、易溶性酸化銅、高純度液化塩化水素などを製造



お問合せ先		
【熱供給に関すること】		
資源循環局施設課長	生井 秀一	Tel 045-671-2527
【鶴見工場に関すること】		
資源循環局鶴見工場長	倉本 秀樹	Tel 045-521-2191